

南加岐阜県人会

奥田会長ら全役員再選

多彩な活動案を協議

南加岐阜県人会(奥田サム貞沖会長)の二〇〇八年度新年総会が一月二十七日、小東京のキョウト・グラランドホテルで開催された。

「やっとかめー」(お久しぶり、八十日目)の声と共に、雨模様の中を会員たちが

会場に姿を見せる。岐阜県庁の小木曾職員および北岡前会長から寄せられた新春メッセージが紹介された後、昨年度の活動報告としてピクニック、ボーリング大会が田口ト

新年総会に出席した南加岐阜県人会の皆さん



レーシー由佳利副会長よりあり、また、県人会ウェブサイト

の近況について水谷ハッピー幹事から説明があった。

会計報告(田口副会長)が承認され、新年度の役員選出

では全役員が再選された。本年度の活動案として、スポーツ大会、ピクニック、ボーリング大会、講演会、日帰りバスツアー、カラオケクラブ、

南加岐阜県人会協議会の親睦演芸会参加などが協議された。このほか、ウェブサイトの活用

方法として記事の掲載、投稿

一人ひとりが自己紹介して、出身地のことや趣味や仕事などについて気楽に同郷人とコミュニケーション。こ

じんまりとまとまった県人会ながら、その利点を活かした中身の濃い新年総会。プレゼン

ト交換で締めくくり、次に合えばまた「やっとかめやなあ」の声を

を贈られた二村真次さん

依頼などで意見交換した。昼食をはさんで、二村真次さんによるミニ講演会が開かれた。演題は「私の米国企業体験談」。

二村さんは、和食器の専門店として知られる「うつわの館」の経営者で、全米およびカナダに現在十三店舗を構えている。創業時の苦心談から、白人社会に和食器を広めていった経緯、Eコマースが重要となってくる今後の展望などについて自らの経験を基に、率直に語っていた。

一人ひとりが自己紹介して、出身地のことや趣味や仕事などについて気楽に同郷人とコミュニケーション。こ

じんまりとまとまった県人会ながら、その利点を活かした中身の濃い新年総会。プレゼン

ト交換で締めくくり、次に合えばまた「やっとかめやなあ」の声を

を贈られた二村真次さん



奥田会長(左)から、県人会への長年の貢献に対して感謝の盾を贈られた二村真次さん

(石原 嵩)